

飯縄山&高妻山山行報告

【山行日】2017年 9月30～10月1日

(土・日) 晴れ

【集 合】岩舟支所駐車場 AM 4:00

【費 用】マイカー1台 : 14,000円

【メンバー】CL:鈴木 関、藤原、渡辺、
松館(高妻山のみ)

【コースタイム】30日: 岩舟支所 P4:00＝神告
げ温泉 P6:45/7:00～西登山口 7:20～菅ノ宮 8:00
～飯縄神社 9:10/～飯縄山 9:25/9:45～瑠璃山
10:50/11:00～スキー場分岐 11:30～神告げ温泉

P12:20/13:00～奥社 P13:10～奥社 13:50～奥社 P15:00＝戸隠牧場 P15:15＝シャレー戸隠 15:30

高妻山に登りたいとリクエストが複数あり、200名山の飯縄山と併せて登る計画を立てた。



線に出て正規の西登山口からの道と合流する。ここから左へ明るい稜線上を歩くようになり、右側が開けて北アルプスが望まれる。針葉樹の多い暗い感じの林を登ると、萱ノ宮の鳥居をくぐる。晴れて暖かくここまで汗がしたたり、休憩して衣服調整と水分補給を行う。ここからの道は少し傾斜がきつくなり、岩や木の根で歩きにくい。さらに登ると針葉樹林帯を抜けて、灌木の多い笹原に出る。右側が開け北アルプスの山々が見え、特に白馬三山がすぐそばに聳えとても素晴らしい。展望を楽しみながら、少しきつい登りをゆっくりと登って行く。しだいに高度が上がって行き、いつの間にか戸隠山と高妻山も後ろに現れてくる。「エ～あれが高妻山？明日登れるかな？」と心配そうな声が聞こえる。



初日は飯縄山を登ることにし、岩舟支所を4時に出発する。北関東道から上信越道を進み、信濃町ICで降り戸隠を目指す。中社から左折し蕎麦屋や旅館が並ぶ細い道を進み、神告げ温泉前の駐車場に車を止める。駐車場にはトイレもあり、下山後神告げ温泉で蕎麦を食べるの予定なので都合が良い。

トイレを済ませてストレッチを行い出発する。忍者村の前を通り林道を進み、瑠璃沢の橋を渡って少し行くと左側にショートカットの登山口がある。登山口から林の中を一登りすると、稜



小さな岩場を越えて少し登ると、飯縄神社があるピークが正面に見えてくる。やがて右から一の鳥居から登るコースと合流し、ここで小休止して景色を楽しむ。岩の多いきつい道を登ると飯縄神社があるピークに出る。ピーク手前の鳥居の奥に飯縄大明神の石祠があり、東側には飯縄神社の祠がある。



ここから北へ小さく下って、少し登り返すと飯縄山山頂に出る。石仏が祀られた山頂はなだらかで広く、360度の展望が楽しめ多くの登山者が休憩していた。我々も休憩しリンゴや菓子を食べながら展望を楽しみ、記念写真を撮ったら山頂を後に下山する。山頂から北に少し行くと霊仙寺山への分岐になり、左に折れて笹原の間を緩やかに下って行く。カエデやドウダンの紅葉が美しく、その先にはこれから登る瑠璃山や明日登る高妻山が素晴らしい。

道は笹原から灌木が多い急坂を下り、再び笹原のゆるやかな道を歩いて行く。展望が開けた稜線の道は、行く手に見える瑠璃山まで真っ直ぐについており、瑠璃山の後ろには戸隠山と北アルプスが並んでいる。やがて道は鞍部に出て、ここから100mほど登り返すと瑠璃山山頂に着く。瑠璃山頂からの展望も素晴らしく、皆さんが「こんなに景色が良い山だったんだ」と喜んでいて、ここからの下山は登山道を少し戻り、右にスキー場のゲレンデの中を下りて行く。途中道標に従って左の樹林帯に入り、沢をいくつか渡ると水路脇を歩く道になり、再びゲレンデに出たら左に降りて行く。舗装道に出たら左に進むとすぐに駐車場に出る。靴を履き替えたらずらに温泉に行き、ランチに大盛りのお蕎麦をいただいた。皆さん「美味し～美味しい～」と食べ、誰か残すだろうと期待したが全員完食した。ランチが済んだら奥社の観光に出かける。



今回の山行で我輩お勧めのコースで、奥社への参道の杉並木は是非見せたかった。片道40分の参道をおしゃべりしながら歩き、少し観光気分を楽しめ満足そう。戻ったら入口のお店でコーヒータイム。我輩はリンゴジュースを頼んだが、100%果汁のジュースはとても美味しかった。この後は明日の登山口を確認し、牧場内の売店の駐車場に車を置かせてもらうことにした。ここから今宵の宿「シャレー戸隠」に向かい、受付を済ませ荷物を整理したら入浴する。

ワインを飲み、食べ切れない程の夕食を美味しくいただき、明日の早出に備え早めに就寝した。

1日: シャレー戸隠 4:40=戸隠牧場 P5:00/5:20~滑滝 6:20~一不動 7:00~五地藏 8:00/8:10~九勢至 9:05~高妻山 10:00/10:25~九勢至 11:05~六弥勒 11:55/12:30~戸隠牧場 P14:30/15:00=岩舟支所 P18:05

朝3時に起床予定だったが、チョップリ寝坊し皆に起こされた。あわてて朝食のパンを2個食べ、トイレを済ませて予定通り出発した。登山者用駐車場で松ちゃんと待ち合わせ、携帯で電話するが出



ない。しばらく待つとTELがあり無事会うことが出来た。我輩の車の後を来るように指示し、昨日お願いした駐車場に車を止め出発の準備をする。ヘッドランプを点けて出発し、途中キャンプ場のトイレに寄る。トイレを済ませストレッチを行い登山口に向かう。牧場内の標識を確認しながら進み、奥の牛止めを抜けると登山道になる。樹林の中をしばらく行くと飛び石伝いに沢を渡り、左岸を歩くようになる。この後も何回も流れを渡りながら登って行くが、ゲリラ豪雨により沢が大きくえぐ

られ登山道が分かりにくい。最近はこの沢登りで道迷い事故が多発しているようだ。やがて右から大きな沢が合流するとクサリ場になる。滑滝に付けられた20mほどのクサリだが、足場がしっかりしているので問題なく登れる。さらに沢の中をしばらく登ると、大きな岩壁に行く手を遮られる。ここは帯岩と呼ばれる場所で、左の草付を登り垂直に近い帯岩の中ほどの細い岩を、クサリを頼りにへ攀るように渡って行く。最後は不動滝の落ち口の岩を、慎重に登ると悪場は終わる。ここから沢の中を少し登ると一杯清水と呼ばれる水場だ。冷たくて美味しい湧



水なので、水筒の水を入れ替えて行くと良い。さらに沢の中を上流へと行くが、水の流れは無くしだいに道らしくなって急坂を登ると一不動へ着く。一不動には避難小屋があり、多くの登山者が休んでいた。我々も休憩しナシや菓子を食べ、エネルギーを補給する。高妻山へは右に稜線を真っ直ぐに樹林の中を登って行く。二釈迦の石祠がある所で道は尾根に出て、三文殊を過ぎると下ようになる。四普賢の石祠を過ぎて、きつい登りを越えると五地藏山の頂上に着く。広い山頂には地藏菩薩が祀られているが、展望は得られない。大休止し疲れた体を休めながら、行動食のあんパンをかじる。

大休止し疲れた体を休めながら、行動食のあんパンをかじる。

ここからも稜線を辿り下山道分岐の六弥勒を過ぎると、行く手に小さなピークが見えてくる。きつい登りでピークに出ると七観音がある。

ここから雑木林の中を少し下って、次のピークへの途中に八薬師があり、緩やかに下って登り返した先に九勢至がある。九勢至からは高妻山が間近に聳え、休憩しながら「エ～あれを登るの？登れるかな？」と心配していた。

一旦鞍部に下り、道は真っ直ぐにネマガリタケの間を登って行く。

道はしだいに傾斜を増して急登になってくる。ダケカンバの林に入ると、さらにきつい登りになり、木につかまりながらよじ登って行く。ちょっとした岩場の登りもあってとても登りにくい。頑張ると高妻山の肩に出て、草地のゆるやかな登りになり展望も開ける。大きな岩が

重なり合った歩きにくい岩場に十阿弥陀の石祠があり、この先の岩場を越えると三角点のある高妻山頂に着く。山頂からの眺望は素晴らしく、妙高山や火打山をはじめ北アルプスが一望できる。



特に近くに見える白馬三山は、迫力があり素晴らしかった。眺望を楽しみながら、ご褒美のヨーグルトや菓子を食べ、「良く登ったね」とお互いを褒め合った。眺望を楽しみ記念写真を撮ったら下山する。下山は来た道を辿り、六弥勒の分岐まで下って行く。次々に登って来るので、すれ違いに時間が掛かるがお互いに譲り合いながら慎重に降りて行く。2つのピークを登り返すのは辛かったが、何とか六弥勒まで戻りランチタイムとする。キャベツとネギを入れたミソラーメンを作り、お腹が空いていたので皆美味しいと食べていた。大変な山を登り切った満足感で、食後のお茶もとても美味しく感じた。分岐から弥勒尾根を下って行くが、急傾斜の登山道なので慎重に降りて行く。この道は比較的新しい登山道だが、5年前からするとかなり歩かれ歩き易くなっていた。皆さんとても元気で、ハイペースで下り切り2時間で牧場に下山できた。

車を置かせてもらった店に寄り、皆でソフトクリームを食べた。店の奥さんは「そんな別に何も買わなくても良いですよ」と言ってくれ、キュウリの漬物とお茶をサービスしてくれた。帰りがけに店の前のキノコを見ると、ホンシメジが1パック500円なので購入した。天然のホンシメジは貴重で、なかなか手に入らない。駐車場で松ちゃんとお別れし、お互いに帰路につく。車の中も、大きな山を登り切った達成感で話が弾み、いつもは寝てしまう3人も岩舟支所まで寝ずに着いた。

そうそう、帰りに買った天然のホンシメジ、炊き込みご飯で食べたら最高に美味しかったですヨン！